

被爆75年の祈りを込めて

レクイエム・プロジェクト広島2020

希望と日常を取り戻すために!

主催：レクイエム・プロジェクト実行委員会、レクイエム・プロジェクト広島実行委員会
後援：広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、中国新聞社、朝日新聞社広島総局、読売新聞広島支局、毎日新聞広島支局、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
特別協賛：(株)ケー・エフ・シー
協力：和田 忠(グラフィックデザイン)

2020年 8/23^日

 会場：カトリック幟町教会 世界平和記念聖堂 開演：17時

ご挨拶

当初3月22日に開催を予定しておりましたが、
「レクイエム・プロジェクト広島2020」コンサートは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う
緊急事態宣言を受けて、コンサートの開催を延期する判断をし、
合唱団の活動も3月から休止しておりました。
今年是被爆75年。新型コロナ感染拡大により、音楽による追悼の思い、平和への願いを
発信する場が失われるとしたら、これほど残念なことはありません。
この度、新型コロナ感染拡大により失われた「希望と日常を取り戻すために」、
感染予防の対策に充分配慮して実施致します。
状況の推移とともに、7月から合唱団は参加可能なメンバーによる活動を再開し、
この日に向けて練習して参りましたが、3ヶ月におよぶ活動休止の影響は計り知れません。
ただ本日のコンサートは、全国のレクイエム・プロジェクト実施地域の中で、
活動休止後最初のものとなります。活動できる喜び、
演奏できる状況に感謝して、休憩を挟まない1時間弱の追悼と祈りのコンサートを
開催させていただきます。

レクイエム・プロジェクト代表・作曲家：上田 益

レクイエム・プロジェクト広島実行委員会

実行委員長：佐伯康則 実行委員：吉野小百合、伊藤孝子、戸原郁子、陶守由紀子
ボイストレーナー：大島久美子 ピアニスト：鎌田章子、大井里菜

出演

指揮：佐伯康則、上田 益 オルガン：佐々木 悠

合唱

レクイエム・プロジェクト広島合唱団

ソプラノ 神原玲子、清老敏子、花田啓子、山下順子、吉野早百合、大島久美子
アルト 新井和子、伊藤孝子、陶守由紀子、日野葉子、森川 都
テノール 吉川 恵、松村拓典
バス 富山耕造、元山和志

レクイエム・プロジェクト 神戸いのりのとき合唱団

ソプラノ 白藤悦子、武貞育子、山崎妙子
アルト 青山真理子
テノール 青山佳弘、白川国宏
バス 林 康文

レクイエム・プロジェクト 東京いのりのとき合唱団

アルト 島田眞美
バス 伊藤俊介、石井洋一

レクイエム・プロジェクト長崎合唱団

ソプラノ 本村絹代、山川加津枝

プログラム

作曲はすべて上田 益

- アヴェ・マリア ～母に寄す～

- 祈りのとき

- サルヴェ・レジーナ

- ミサ・ブレヴィス抜粋 キリエ、グローリア、
 サンクトゥスとベネディクトゥス
 アニュス・デイ

- レクイエム抜粋 レクイエム・エテルナム、キリエ
 ラクリモーザ、サンクトゥス
 光のかなたへ
 未来に向かって

佐伯康則（さえき やすのり）…………… 作曲家、合唱指揮者、レクイエム・プロジェクト広島実行委員長



エリザベト音楽大学作曲コース卒業。太田司郎、井上一清、ホセ・テホンの各氏に師事。後年スペインに留学し、バルセロナ市立高等音楽院合唱指揮科にてエンリケ・リボ氏に師事して、ルネサンス期のポリフォニー音楽を研究。帰国後、音楽教育者として活躍し、数多くのコーラスグループの合唱指導をつとめる。2016年9月、Tu es Petrusをローマ法王に献呈。

上田 益（うえだ すすむ）…………… SUSUMU UEDA（作曲家、レクイエム・プロジェクト主宰者）



京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。廣瀬量平氏に師事。京都音楽協会賞受賞。1980年度文化庁芸術家国内研修員に選出され、東京において研鑽を積む。クラシック音楽の作品のほか、長野オリンピック・公式楽曲「WINTER FLAME」の作曲や神戸ルミナリエの音楽、「1 リトルの涙」「黒革の手帖」などのテレビドラマ音楽、NHKの番組音楽などを多数手がける。阪神・淡路大震災から15年となる2010年に向け、2008年より追悼と希望の合唱プロジェクト「レクイエム・プロジェクト」を神戸で実施。被災者自らが合唱団員として参加するその活動は全国10箇所に広がり、現在もその活動を神戸・東京・仙台など、全国の7つの地域で継続して行っている。合唱作品も多く、全音楽譜出版社、カワイ出版から作品集合計21冊が出版されている。

また海外でもレクイエム・プロジェクトのコンサートが行われ、プラハ（2012年、ドヴォルザーク・ホール）2014年にはウィーンの聖シュテファン大聖堂主催公式グランドコンサートにおいて「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」などを演奏。10分間以上のスタンディング・オベーションが続き、教会でのコンサートとしては異例の反響となった。2016年9月には、バチカン教皇庁の特別な許可を得て、復興祈念・平和への祈りを目的としたレクイエム・プロジェクト「バチカン・イタリア特別公演」を実施。サン・ピエトロ大聖堂、システィーナ礼拝堂（以上バチカン）、聖フランチェスコ聖堂（アッシジ）、サンタ・トリニータ教会（フィレンツェ）で、国内各被災地からの合唱団有志と共に演奏を行い、大成功を収めた。またこれら公演に際し、新作「ミサ・ブレヴィス～平安への祈り～」(全音楽譜出版社)を、フランシスコ教皇へ献呈する栄誉をバチカン教皇庁より与えられた。

佐々木 悠（ささき ゆう）…………… オルガン



エリザベト音楽大学准教授。日本グレゴリオ聖歌学会理事。エリザベト音楽大学博士後期課程修了、博士号（音楽）を取得。シュトゥットガルト音楽演劇大学留学。国際グレゴリオ聖歌学会主催グレゴリオ聖歌セミナー修了。オルガン演奏では、国内外でリサイタルやコンサートに出演している。2019年には、Bärenreiterの権威ある専門誌 Musik und Kircheに論文が掲載される他、グレゴリオ聖歌研究により2019年度カワイサウンド技術・音楽振興財団研究助成受賞、2020年度ロームミュージックファンデーション研究助成受賞。



技術の力で未来を支える



建設ファスニング技術を通じて道路・鉄道・建築耐震などの安全対策に注力し、社会の発展と環境づくりに貢献します。

GBRC 性能証明 第01-03号 改2

ハイブリット 耐震補強工法

本工法は、工事中の騒音や振動、粉塵を軽減できる特長を生かしながら、病院や学校あるいは事務所建築を中心とした、居ながらの耐震補強工事を可能としました。



内付工法 内装仕上げ例



外付工法 外観



ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！



建技審証第1203号

せん断補強 RMA工法

「既存ボックスカルバートや擁壁などの連続壁に対し、内空断面を侵さず補強を行いたい。」そんな希望にお応えするため開発されたのが、RMA工法です。



RMA工法施工前



RMA工法施工後

【事業内容】

耐震関連工事の設計・施工及び環境・安全施設工事
建設用ファスナー類及び付属品の販売・施工
トンネル掘削用資材の販売

【事業所】

東京・大阪・名古屋・仙台
横浜・静岡・岡山・広島・福岡



株式会社 ケー・エフ・シー

<http://www.kfc-net.co.jp>